

国立天文台・天文情報センター・アーカイブ室 中桐正夫

*** スワロフ日食(1958年10月12日)記録写真のデジタルアーカイブ**

2008年10月20日、表記日食観測隊員であった清水実氏が逝去された。氏は東京天文台分光部で、日食観測などで活躍の後、1960年開所した岡山天体物理観測所開設、立ち上げ、運営に定年までご活躍だった方であり、筆者たち天文台の技術系職員の多くを育てた恩人であった。氏の逝去を聞き、お悔やみに伺った席で氏が観測に出かけられたスワロフ日食とセイロン日食のアルバムを見せていただき、これらの記録写真をアーカイブ室で保存すべくアルバムをお借りしてきた。今回はそのうちスワロフ日食の記録写真のアーカイブの報告である。スワロフ日食については、すでに記録映画のDVD化、スワロフ島の海図(アーカイブ室新聞21号)などを既にアーカイブデータとしたことを報告してある。

まず、氏のアルバムにあった美しい日食写真(写真1)をご覧いただきたい。

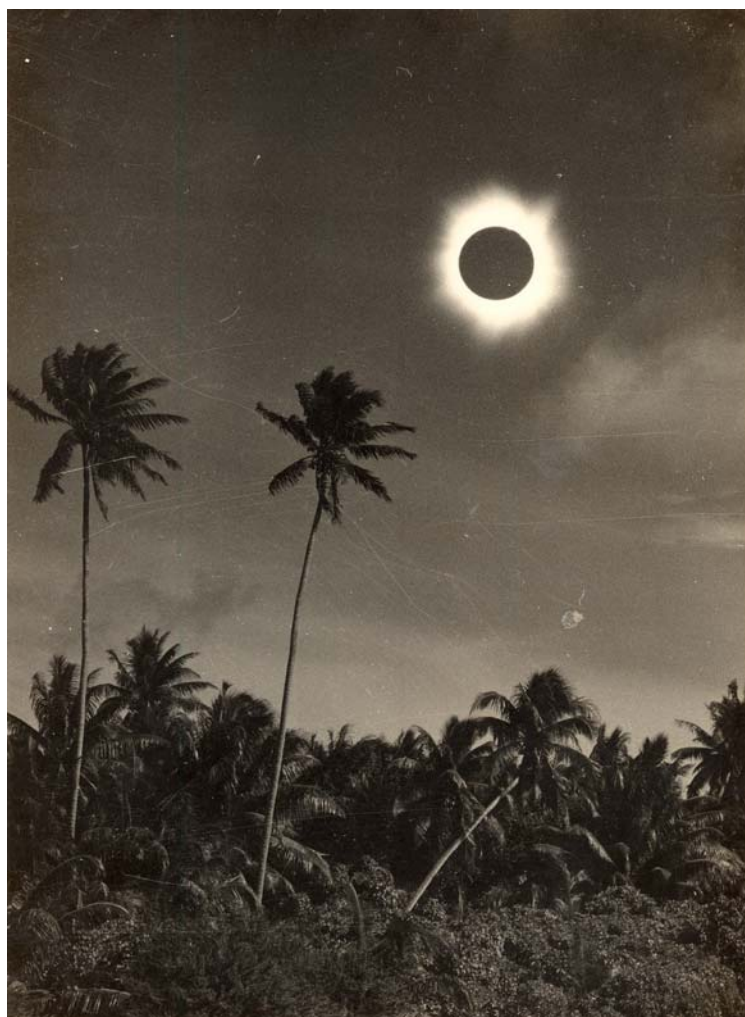


写真1 スワロフ日食の皆既写真

この日食には、東京天文台から7人が隊員として派遣されており、アルバムに7人のサムライ（写真2）としてあった。



写真2 東京天文台から派遣の7人のサムライ

写真2の上段左から、末元、田鍋、日江井、山下、下段左から、加藤、橋本、清水の各氏である。この中では末元、日江井のお二人は太陽物理学が専門だが、田鍋氏は夜天光、山下氏は恒星物理が専門であった。加藤氏は時刻管理、橋本氏は設営担当で行ったのであろう。清水氏は観測器械担当であったと思われる。このアルバムには東京竹芝棧橋の出航を見送る場面から、船中の様子、赤道を南下する際の赤道祭、日食観測器械の様子（写真3）、皆既日食時のコロナの写真、帰り立ち寄ったホノルルの写真など興味深い写真、資料がたくさんある。



写真3 日食観測器械の一つ

この観測は、北海道大学水産学部の練習船「おしよろ丸」が使われたことなどは既にア

このアルバムの中に、田鍋さんを見送りに来た測光部のお3方（写真4）がおられた。
懐かしい方々もおられよう！



写真4 左2人目から高橋、沢渡、田中、森

これ等懐かしい写真、貴重な映像が写真5のCDでアーカイブされている。ご覧になりたい方は、天文情報センターアーカイブ室までご足労ください。



写真5 CDに入ったスワロフ日食記録写真